

第24回高校生ものづくりコンテスト全国大会 課題の質問・回答

質問校名 長崎県立長崎工業高等学校

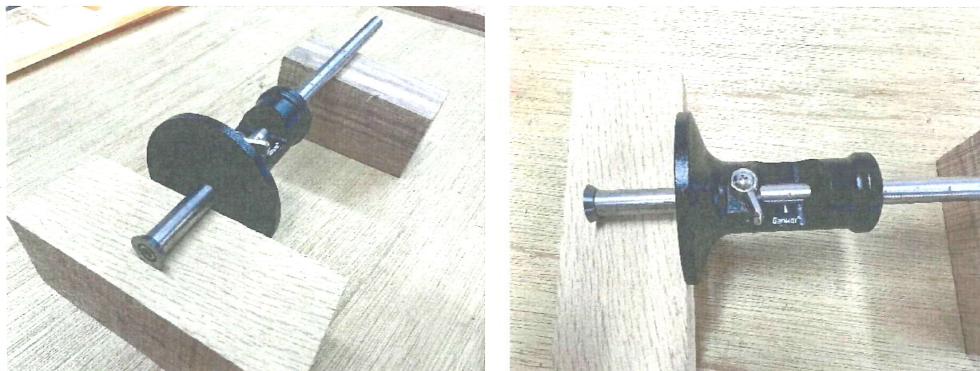
競技部門名 木材加工部門

質問内容・回答

【質問内容】

Q1 けびきについて

下記写真のけびきを使用したいと考えているが、使用可能でしょうか。



※精度の高い目盛付きのけびきは、高価で、かつ、入手困難な状況である。写真の物は安価で入手可能であるため使用したい。

【回答】

A1 本大会においては写真のような工具（（マイクロアジャスト）ホイールマーカールとお見受けします）は使用しないようにお願いいたします。

工具選定においては、工具名から誰が見てもその工具であることが確認できることを前提にしてください。他工具においても同様にご準備、ご対応いただきますようお願いいたします。

第24回高校生ものづくりコンテスト全国大会 課題の質問・回答

質問校名 名古屋市立工芸高等学校

競技部門名 木材加工部門

質問内容・回答

【質問内容】

Q2 3. 配布材料について
選手に当日渡される、配布材料の支給方法について第23回全国大会と同じ方法かどうかを具体的にお示しください。

Q3 4. 会場に準備されているもの 削り台(90×90×700)について
作業台(105×105×400)2本とこの削り台(90×90×700)1本を組み合わせる(図1 側面図)図1のように作業を行うことが可能(評価で原点はされないのか)かどうか、具体的にお示しください。(第23回高校生ものづくりコンテスト全国大会では木造り作業(削りのみ)で使用可能でした。)
また、当日削り台に使用する栈木について追加で頂くことは可能かどうか、いただけない場合は持参してもよろしいかどうかお知らせください。

【回答】

A2 材料の配布は23回大会と同様で以下の通りの流れとなります。
材料抽選の予備抽選(本抽選順を決める)→材料抽選の本抽選→材料の抽選
材料ごとの抽選はせずに、本抽選で決まった順に全材料を抽選(選定)していただきます。

A3 作業台と削り台を組み合わせるの使用は可能(減点評価ではない)です。

ただし、

- ・作業台と削り台の金物固定は行わない
- ・削り台では木造り作業(削り)以外の作業は行わない

ように注意してください。

栈木に関してはエリア配布1人2枚、当日申請で2枚(一枚につき釘2本)まで追加配布いたします。

第24回高校生ものづくりコンテスト全国大会 課題の質問・回答

質問校名 北海道帯広工業高等学校

競技部門名 木材加工部門

質問内容・回答

【質問内容】

- Q 4 栈木は一人につき何本用意されていますか。
- Q 5 原寸図の採点は「図面」「制作用」どちらの観点で行いますか。
 （審査基準では、評価項目は「理解度」、評価の観点は「作成状況」とあります。
 線の太細の区別なども意識し、補助線などの目立たない綺麗な「図面」を目指すべきか、
 「理解度」は伝わりやすく、制作時に木材に墨を写しやすい「制作用」を目指すべきか。）
- Q 6 現寸図は、使用しないときは作業エリアから外に出しても良いですか。
- Q 7 1日目のタイムスケジュールを教えてください。
 （全体実施要項のなかで、現寸図作成（40分）の開始時刻は何時ですか）
- Q 8 大会全体の実施要項（11.審査）に「同点の場合の優先順位は、あらかじめ協議しておく」と記載がありますが、決まったら競技前に選手に教えてもらえるのでしょうか。

【回答】

- A 4 配布は事前に一人2本、申請いただければ追加で2本を上限に配布いたします。
 その際、釘も栈木1本につき2本ずつ配布いたします。
- A 5 採点の観点は「制作用」を基本として採点を行います。
- A 6 作業エリアから出していただいて構いません。ただし、エリアから一度出してしまった原寸図は、再度作業エリアへ入れないようにしてください。完成まで必要であれば、エリア内に置いて作業を進めてください。
- A 7 全体的な日程は後日お送りします連絡を参照ください。
 現寸図作成は14：30～15：10を予定しております。
- A 8 現時点で決定しておりますが、認識に差異が生じる恐れもありますので、大会初日の選手・引率者会議の際に通達いたします。